# 追加情報

・本書では、操作設定編に追加する情報を記載しています。本機に付属の取扱説明書 操作設定編とあわせてお読みください。
・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
・本書では製品品番の一部（WV-）を省略している場合があります。
・本書は以下の機種を対象にしています。
WV-S3530J、WV-S3510J、WV-S3130J、WV-S3110J、WV-S3130UX、WV-S3530UX

**・ソフトウェア** Ver.4.00

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 1 | 「オーバーレイ画像」機能を追加 | 基本-オーバーレイ画像 | 3ページ |
| 2 | 日付・時刻と画面内文字の見やすさを改善 | 基本-基本 | 6ページ |
| 3 | 設定データの暗号化方式の変更 | メンテナンス-データ | 7ページ |

**・ソフトウェア** Ver.4.30

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 4 | ［プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe)］－［ライブ画スムーズ表示（バッファリング)］の初期値を変更 | 基本-基本 | 8ページ |
| 5 | ［インターネットモード］の初期値を変更 | 映像/音声-映像 | 9ページ |
| 6 | SNMP v1/v2 のアクセス制限機能を強化 | ネットワーク<br>-アドバンス | 10ページ |
| 7 | 「アラーム連動動作」に「アラーム時のSNMP送信」を追加 | アラーム<br>-アラーム連動動作 | 11ページ |
| 8 | ［SNMP］に［SNMPトラップ設定］を追加 | ネットワーク<br>-アドバンス | 12ページ |

**・ソフトウェア** Ver.4.60

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 9 | 管理者登録時のブラウザーの言語設定により、ストリームに関する設定項目の初期値を変更 | 映像/音声-映像 | 16ページ |
| 10 | 「ネットワーク」のIPv4ネットワークの［接続モード］の初期値とDHCPの動作仕様を変更 | ネットワーク | 17ページ |
| 11 | 「ネットワーク」にONVIF設定を追加 | ネットワーク | 18ページ |
| 12 | 「ネットワーク」の「アドバンス」に［SRTP］を追加 | ネットワーク-アドバンス | 19ページ |
| 13 | HTTPアラーム通知機能がHTTPS通信とDigest認証に対応 | アラーム-通知 | 20ページ |
| 14 | HTTPアラーム通知機能の認証失敗時、システムログに追加 | その他-システムログ | 22ページ |

**・ソフトウェア** Ver.4.80

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 15 | ［SNMPトラップ設定］に「お知らせ」を追加 | ネットワーク<br>-アドバンス | 23ページ |
| 16 | 録画ストリームの書き込み失敗時のシステムログを追加 | メンテナンス<br>-ステータス | 24ページ |
| 17 | 録画ストリームの書き込み失敗を独自アラームで通知する機能を追加 | アラーム-通知 | 25ページ |
| 18 | 録画ストリームのビットレートに推奨値を超えた値を設定したときの注記を追加 | 映像／音声-映像 | 26ページ |
| 19 | プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe）のダウンロード機能を追加 | 基本-基本 | 27ページ |
| 20 | メール通知先の認証パスワードを拡張 | ネットワーク-<br>アドバンス | 28ページ |

**・ソフトウェア** Ver.4.90

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 21 | LLDP機能に対応 | ネットワーク<br>-アドバンス | 29ページ |

**ソフトウェア** Ver.4.91

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 22 | PCの日時をカメラに設定する機能を追加 | 基本-基本 | 31ページ |
| 23 | SDメモリーカードの「上書き」の初期値をOnに変更 | 基本-SDメモリーカード | 32ページ |
| 24 | インターネットモードのOn/Offの補足説明を設定画面に追加 | 映像／音声-映像 | 33ページ |
| 25 | NTPテスト機能を追加 | ネットワーク<br>-アドバンス | 34ページ |
| 26 | HTTPSにTLS設定を追加 | ネットワーク<br>-アドバンス | 35ページ |

**・ソフトウェア** Ver.5.01

| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| 27 | SDメモリーカード画像取得機能を削除 | 基本-SDメモリーカード | 36ページ |
| 28 | i-VMDアラームエリア情報設定を独自アラーム通知画面に追加 | アラーム-通知 | 37ページ |
| 29 | 映像配信ログをステータス画面に追加 | メンテナンス-ステータス | 38ページ |

**・ソフトウェア** Ver.5.02

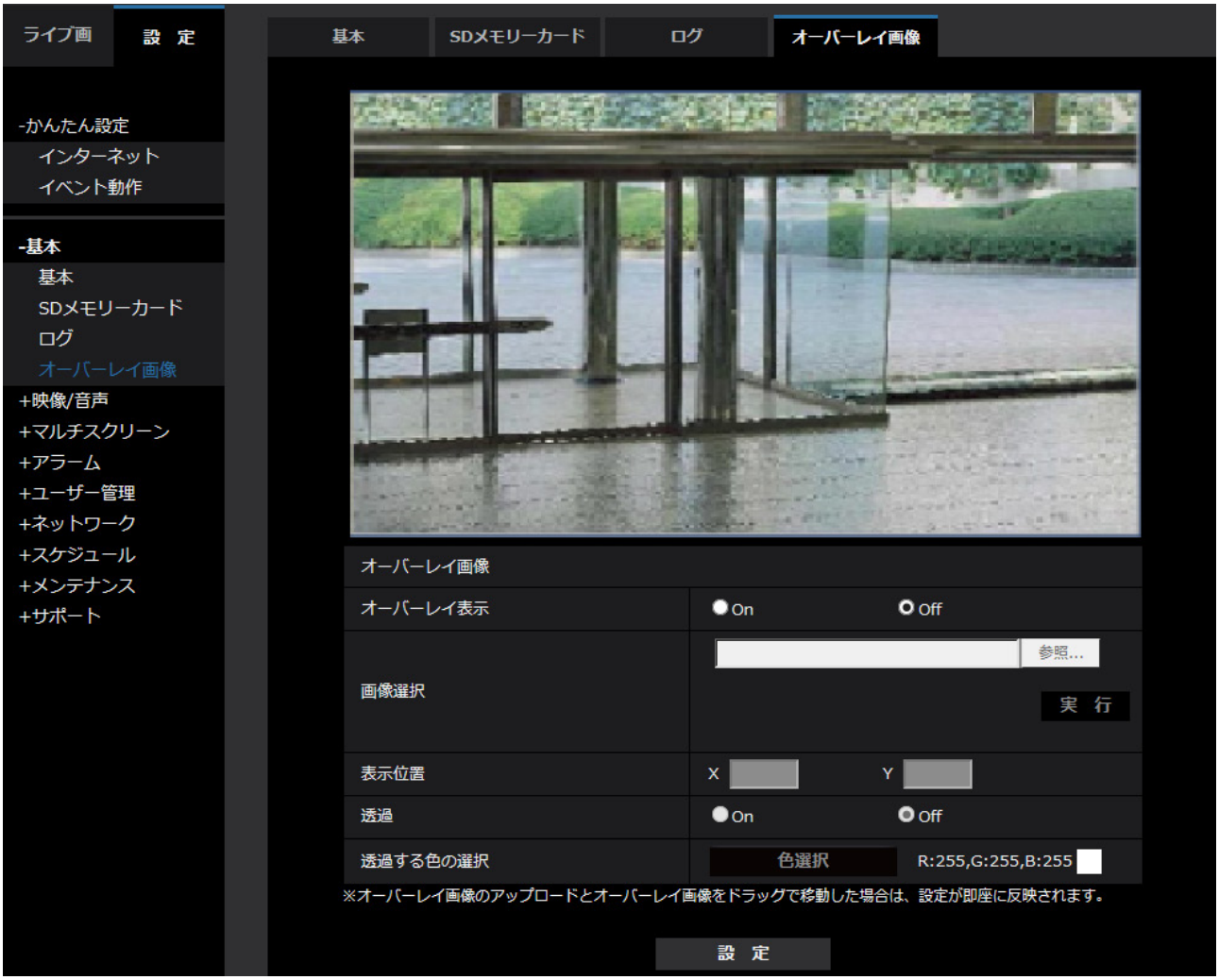
| No. | 機能 | 対応画面（ページ） | 記載ページ |
|---|---|---|---|
| | WV-S3130UX、WV-S3530UXに対応<br>上記品番について、Ver5.02より前のファームは使用できません。 | - | |

# 1.［オーバーレイ画像］機能を追加

## （取扱説明書　操作･設定編　本機の基本設定を行う［基本］）

基本ページに［オーバーレイ画像］機能を追加しました。
［オーバーレイ画像］機能とは、本機にアップロードした画像をライブ画像に埋め込み表示（オーバーレイ表示）する機能です。

基本ページの［オーバーレイ画像］タブをクリックします。
ここでは、［オーバーレイ画像］機能に関する設定を行います。




**［オーバーレイ表示］**
アップロードした画像をオーバーレイ表示するかどうかを On/Off で設定します。
**On：**オーバーレイ表示します。
**Off：**オーバーレイ表示しません。
**初期設定：**Off

**重要**
・［オーバーレイ表示］を「On」に設定すると、SD メモリーカード録画時に、オーバーレイ表示された画像が録画されます。

**お知らせ**
・［日時&画面内文字］の［文字サイズ］が「150%」または「200%」に設定されていると、［オーバーレイ画像］を設定できません。

**［画像選択］**

以下の手順で、オーバーレイ表示する画像ファイルを本機にアップロードします。

1）［参照］ボタンをクリックして、PC に保存されている画像ファイルを選択します。

2）［実行］ボタンをクリックして、選択した画像ファイルを本機にアップロードします。

画像ファイルをアップロードすると、設定画面上にアップロードした画像（アップロード画像）がオーバーレイ表示されます。

オーバーレイ表示には、以下の仕様の画像ファイルが使用できます。

画像フォーマット：256 色 ビットマップ（BMP：Windows 形式）
画像サイズ：24 ピクセル × 24 ピクセル ～ 512 ピクセル × 512 ピクセル
ファイル容量：257 Kbyte 以下

**お知らせ**

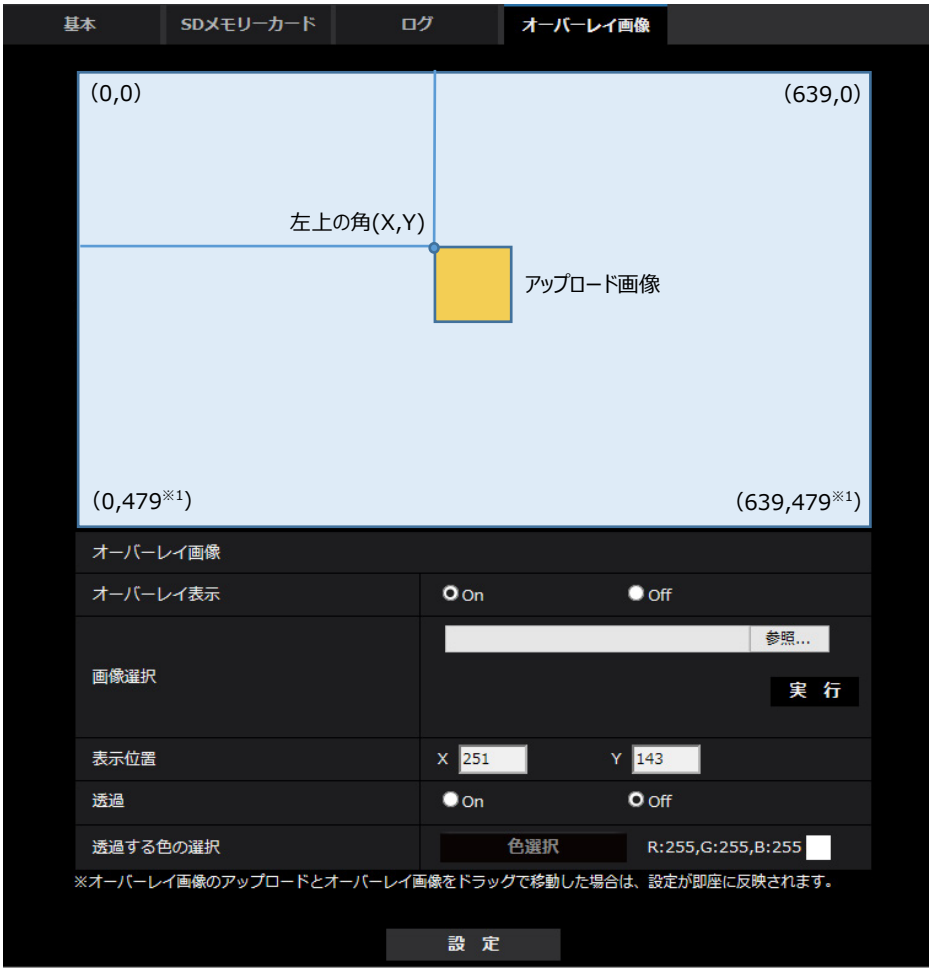
・画像ファイルはスペースや全角文字を使用していないフォルダーに保存してください。
スペースや全角文字を使用しているフォルダーに保存されたファイルはアップロードできません。
・アップロード画像はアップロードしたときに保存されます。

**重要**

・画像ファイルのアップロード中は、本機の電源を切ったり、本機の操作をしたりしないでください。
・表示されるアップロード画像は、ライブ画像の解像度によっては縮小されます。アップロード画像の画質が劣化して表示されることがありますので、ライブ画ページでオーバーレイ表示されている画像を確認してください。

**［表示位置］**

アップロード画像の表示位置（画像の左上の角）が［X］と［Y］の座標で表示されます。




※1［撮像モード］が［4:3］の場合。
［撮像モード］が［16:9］の場合は「359」。

アップロード画像の表示位置の変更は、以下の２通りの方法があります。
・マウスで、表示されているアップロード画像をドラッグ＆ドロップします。
・［X］と［Y］に座標を入力し、［設定］ボタンをクリックします。

**入力可能数字：**

－［撮像モード］が［4:3］の場合：
　　X：0 ～（639 からアップロード画像の横のサイズを引いた値）
　　Y：0 ～（479 からアップロード画像の縦のサイズを引いた値）
－［撮像モード］が［16:9］の場合：
　　X：0 ～（639 からアップロード画像の横のサイズを引いた値）
　　Y：0 ～（359 からアップロード画像の縦のサイズを引いた値）

**初期設定：**ライブ画像の中央

**お知らせ**

・アップロード画像をドラッグしたときに表示される赤枠を移動することで、表示位置の変更ができます。
・アップロード画像の表示が設定画面上からはみ出る座標は設定できません。
・アップロード画像をマウスで移動した場合は、［設定］ボタンをクリックしなくても表示位置が保存されます。
・アップロード画像を画面の端に移動しても、画面の端との間に隙間ができてしまう場合があります。

**重要**

・［撮像モード］や［画像回転］の設定を変更したあとは、アップロード画像の表示位置を確認してください。表示位置がずれている場合は再度表示位置の設定をしてください。
　アップロード画像の表示が設定画面上からはみ出た場合は、表示位置が初期値(ライブ画像の中央)に戻ります。

**［透過］**

［透過する色の選択］で選択した色を透過するかどうかを On/Off で設定します。

**On：**［透過する色の選択］で選択した色を透過します。

**Off：**透過しません。

**初期設定：**Off

**［透過する色の選択］**

以下の手順で、透過したい色を選択します。

1) ［色選択］ボタンをクリックします。アップロードした画像が表示されたサブウィンドウが表示されます。
2) 表示されている画像内で透過したい色をクリックします。選択した色と RGB の値が表示されます。
3) ［閉じる］ボタンをクリックして、サブウィンドウを閉じます。
4) 最後に、［設定］ボタンをクリックすると、選択した色が透過されます。

## 2. 日付・時刻と画面内文字の見やすさを改善

### （取扱説明書　操作･設定編　本機の基本設定を行う［基本］ –基本設定を行う［基本］）

日付・時刻と画面内文字の見やすさを改善するために、［日時&画面内文字］–［文字サイズ］に「100%*」を追加しました。

**［日時&画面内文字］–［文字サイズ］**

画像内に表示される日付・時刻と文字列の文字サイズを選択します。

- 100%*：VGA以下の解像度では、文字サイズを150%で表示します。VGAより大きい解像度では、標準の大きさで表示します。
- 100%：標準の大きさで表示します。
- 150%：標準の150 %の大きさで表示します。
- 200%：標準の200 %の大きさで表示します。

初期設定：100%*

**重要**

- ［日付・時刻表示位置］と［画面内文字表示位置］の設定が異なる場合、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
- ［日付・時刻表示位置］と［画面内文字表示位置］の設定が異なる場合、［文字サイズ］の設定と文字数によっては、文字が切れる場合や重なる場合があります。表示結果を確認のうえお使いください。
- ［文字サイズ］が「150%」または「200%」に設定されている場合、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
- ［文字サイズ］の設定と文字数、［画像回転］の設定や画像の解像度によっては文字が切れる場合があります。表示結果を確認のうえお使いください。

**お知らせ**

- ［オーバーレイ表示］が「On」に設定されている場合、［文字サイズ］を「150%」または「200%」に設定できません。

## 3. 設定データの暗号化方式の変更

### （取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］ – 設定データ・ログをバックアップ／リストアする［データ］）

**バックアップ**

- **［設定データ］**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定データを暗号化して PC に保存します。

**お知らせ**

- 本バージョン以降のバックアップでは設定データの暗号方式を変更するため、ソフトウェアのバージョンを以前のバージョンに戻した時は、リストアできません。

## 4. ［プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe）］–［ライブ画スムーズ表示（バッファリング）］の初期値を変更

**（取扱説明書　操作･設定編　本機の基本設定を行う［基本］–基本設定を行う［基本］）**

［ライブ画スムーズ表示（バッファリング）］の初期値を変更しました。

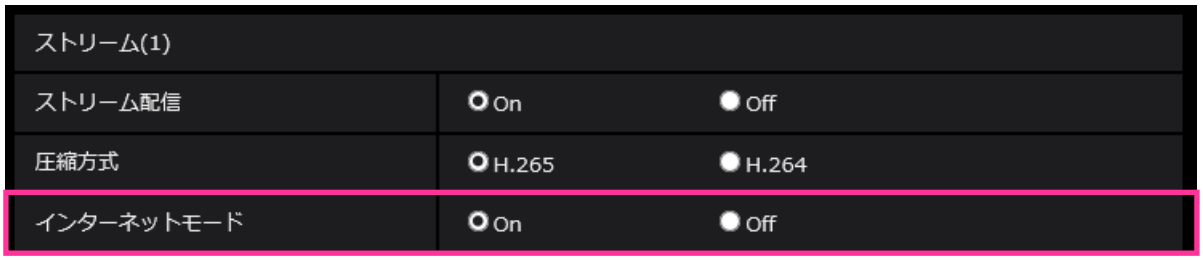
- **［プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe)］–［ライブ画スムーズ表示（バッファリング)］**
  表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。
  **On：**本機の画像を一時的に PC に蓄積し、より滑らかに表示します。
  **Off：**本機の画像を PC に蓄積せず、リアルタイムに表示します。
  **初期設定：**Off

  **お知らせ**
  画像が滑らかに表示されない場合は、Onに設定してください。

## 5. ［インターネットモード］の初期値を変更

### （取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う［映像／音声］–ストリームに関する設定を行う［映像］）

［インターネットモード］の初期値を変更しました。




- **［インターネットモード］**
  H.265（またはH.264）画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでストリームを配信することができます。
  **On：**HTTPポートを使用してH.265（またはH.264）画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については［HTTPポート番号］をお読みください。
  **Off：**UDPポートを使用してH.265（またはH.264）画像、音声を配信します。
  **初期設定：**On

  **お知らせ**
  - 「On」の場合、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
  - 「On」の場合、ストリームの画像が表示されるまでに数秒かかります。
  - 「On」の場合、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、ストリームの画像が表示されない場合があります。
  - 「On」の場合、IPv4アクセスのみに制限されます。

## 6. SNMP v1/v2 のアクセス制限機能を強化

**（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］**
**－ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］－SNMPを設定する）**

カメラがリクエストを受け付けるSNMPマネージャーのアドレス範囲設定を追加しました。

- **［マネージャーアドレス］**
  SNMP バージョンが v1、v2 の時、リクエストを許可する SNMP マネージャーの IP アドレスを入力します。空白の場合は、すべての IP アドレスからのリクエストを許可します。

  **お知らせ**
  - 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネット単位でリクエストを許可するSNMPマネージャーのIPアドレスを制限できます。
    例えば、「192.168.0.1/24」と入力した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のSNMPマネージャーのリクエストが許可されます。

  **入力可能文字数：**0～128 文字
  **入力可能文字：**半角英数字、半角記号「:」「.」「/」
  **初期設定：**空欄

## 7. 「アラーム連動動作」に「アラーム時のSNMP送信」を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う［アラーム］

### －アラーム連動動作に関する設定を行う

アラーム連動動作に関する設定に[アラーム時のSNMP送信]を追加しました。
「SNMP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSNMP送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。
（→「8.　［SNMP］に［SNMPトラップ設定］を追加」）

| アラーム連動動作 | |
|---|---|
| アラーム時の画質制御 | アラーム時の画質制御設定へ |
| アラーム時のメール送信 | メール設定へ |
| アラーム時の画像送信(FTP送信) | FTP設定へ |
| アラーム時の画像保存(SDメモリーカード) | SDメモリーカード設定へ |
| 独自アラーム通知 | 独自アラーム通知設定へ |
| HTTPアラーム通知 | HTTPアラーム通知設定へ |
| アラーム時のSNMP送信 | SNMP設定へ |

## 8. ［SNMP］に［SNMPトラップ設定］を追加

**（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］**
**－ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］－SNMPを設定する）**

SNMPに関する設定に［SNMPトラップ設定］を追加しました。
アラーム発生時のSNMPトラップ通知に関する設定を行います。

- **［SNMPトラップ設定］**
  SNMP トラップ通知の On/ Off を設定します。
  **初期値:** Off

- **［通知先］－［アドレス］**
  SNMP トラップ通知の通知先のアドレスを入力します。
  **入力可能文字数：**0～128 文字
  **入力可能文字：**半角英数字、半角記号「:」「.」
  **初期設定：**空欄

- **［通知先］－［ポート］**
  SNMP トラップ通知の通知先のポート番号を入力します。
  **設定可能ポート番号：**1～65535
  **初期設定：**162
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、 53、 67、68、 69、80、110、123、161、443、554、995、10669、10670、59000～61000

- **［SNMPv2c］－［コミュニティー名］**
  SNMP トラップ通知の通知先のコミュニティー名を入力します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定：**空欄
  **重要**
  - SNMP トラップ通知機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。
    コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP トラップ通知機能を使用できません。

- **［SNMP汎用トラップ］－［coldStart］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、カメラが起動したときに、トラップ（SNMPv2-MIB::coldStart） を通知します。
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［SNMP汎用トラップ］－［coldStart］－［通知文字列］**
  本機が起動したときのトラップを拡張して通知する場合、その文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** cold start

- **［SNMP汎用トラップ］－［linkUP］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、本機がリンクアップしたときに、トラップ（SNMPv2-MIB:: linkup）を通知します。
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［SNMP汎用トラップ］－［linkUP］－［通知文字列］**
  本機がリンクアップしたときのトラップを拡張して通知する場合、その文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** linkup

- **［SNMP汎用トラップ］－［authenticationFailure］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、SNMPの認証エラーが発生したときに、トラップ（SNMPv2-MIB:: authenticationFailure）を通知します。
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［SNMP汎用トラップ］－［authenticationFailure］－［通知文字列］**
  SNMPの認証エラーが発生したときのトラップを拡張して通知する場合、その文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** auth error

- **［アラーム］－［動作検知］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、動作検知が発生したときに、トラップを通知します。
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［アラーム］－［動作検知］－［通知文字列］**
  ［動作検知］のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** VMD alarm

- **［アラーム］－［音検知］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、音検知が発生したときに、トラップを通知します。
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［アラーム］－［音検知］－［通知文字列］**
  ［音検知］のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** audio

- **［アラーム］－［コマンドアラーム］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、コマンドアラームが発生したときに、トラップを通知します。
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［アラーム］－［コマンドアラーム］－［通知文字列］**
  ［コマンドアラーム］のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** cmd

- **［SD メモリーカード］－［診断］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、以下の場合にトラップを通知します。
  – SD メモリーカードの残容量通知時
  – SD メモリーカードの空き容量不足時
  – SD メモリーカードの認識エラー時
  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［SD メモリーカード］－［診断］－［通知文字列］**
  ［診断］のトラップの通知に使用する文字列を設定します。
  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** sd alarm

- **［拡張ソフトウェア］－［アラーム］－［有効／無効］**
  チェックボックスにチェックを入れた場合、機能拡張ソフトウェアでアラームが発生したときに、トラップを通知します。

  **お知らせ**
  - 拡張ソフトウェアをインストールしていない場合は表示されません。

  **初期設定：**チェック無し（無効）

- **［拡張ソフトウェア］－［アラーム］－［通知文字列］**
  ［拡張ソフトウェア］のトラップの通知に使用する文字列を設定します。

  **お知らせ**
  - 拡張ソフトウェアをインストールしていない場合は表示されません。

  **入力可能文字数：**0～32 文字
  **入力不可文字：**全角
  **初期設定:** alarm

## 9. 管理者登録時のブラウザーの言語設定により、ストリームに関する設定項目の初期値を変更

**（取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う［映像／音声］－ストリームに関する設定を行う［映像］）**

管理者登録時のブラウザーの言語設定により、ストリームに関する設定項目の一部の初期設定が以下のようになります。

| 設定項目 | ブラウザーの言語設定 | |
|---|---|---|
| | 日本語 | 日本語以外 |
| 配信モード | フレームレート指定 | 可変ビットレート |
| 画質 | 標準 | 3 |
| ストリーム(1)<br>-1クライアントあたりのビットレート | **WV-S3530J、WV-S3130J**<br>3072kbps*<br>**WV-S3510J、WV-S3110J**<br>2048kbps* | **WV-S3530J、WV-S3130J**<br>6144kbps*<br>**WV-S3510J、WV-S3110J**<br>4096kbps* |
| ストリーム(2)<br>-1クライアントあたりのビットレート | 1536kbps* | 3072kbps* |
| ストリーム(3)<br>-1クライアントあたりのビットレート | 1024kbps* | 2048kbps* |
| ストリーム(4)<br>-1クライアントあたりのビットレート | 1024kbps* | 2048kbps* |

## 10. 「ネットワーク」の IPv4 ネットワークの[接続モード］の初期値と DHCP の動作仕様を変更

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］ –ネットワークを設定する［ネットワーク］）

「ネットワーク」のIPv4ネットワークの［接続モード］の初期値とDHCPの動作仕様を変更しました。

**IPv4ネットワーク**

**［接続モード］**

IPアドレスの設定方法を選択します。

**固定IP：**IPアドレスを「IPアドレス(IPv4)」に入力して設定します。

**DHCP：**DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。

DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

その後に、DHCPサーバーからIPアドレスを取得した場合には、そのIPアドレスに変更します。

**自動設定(AutoIP)：**DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。

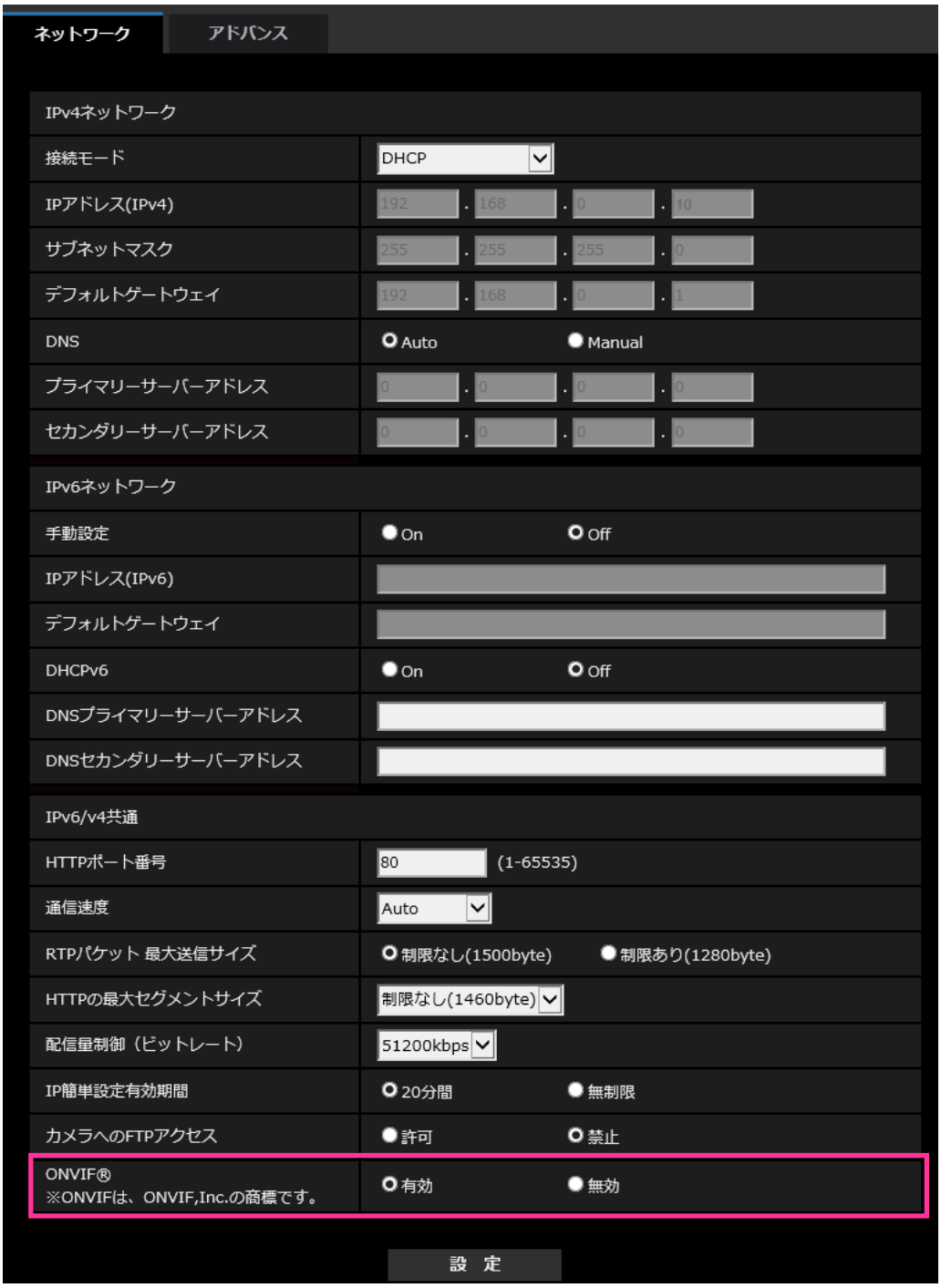
**自動設定(おまかせ)：**DHCP機能を利用してネットワークアドレス情報を参照し、使用していないIPアドレスを固定IPアドレスとしてカメラへ設定します。設定されるIPアドレスはサブネットマスクの範囲内でカメラが自動で決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

**初期設定：**DHCP

## 11. 「ネットワーク」にONVIF設定を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］ –ネットワークを設定する［ネットワーク］）

「ネットワーク」にONVIFの設定を追加しました。




- **［ONVIF®］**
  ONVIF の有効/無効を設定します。
  **有効：**ONVIF 機器からのアクセスが有効になります。
  **無効：**ONVIF 機器からのアクセスができなくなります。
  **初期値:** 有効
  ※ONVIFはONVIF,Inc. の商標です。

## 12. 「ネットワーク」の「アドバンス」にSRTP機能を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］－ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］）

「ネットワーク」の「アドバンス」にSRTP機能を追加しました。
SRTP（Secure Real time Trasnport Protocol）は、音声や動画などのデータをリアルタイムに再生するためのプロトコル「RTP（Real-time Transport Protocol)」を暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

- **［SRTP］**
  SRTP の有効/無効を設定します。
  **有効：**SRTP に対応するクライアントでの SRTP 配信が可能になります。
  **無効：**SRTP に対応するクライアントでの SRTP 配信ができなくなります。
  **初期値:**無効

  **お知らせ**
  - HTTPSの「接続方法」が「HTTPS」に設定されている場合、SRTPを「有効」にすると、ストリームの「１クライアントあたりのビットレート」が最大「10240kbps*」に制限されます。
  - SRTPを「有効」に設定した場合でも、RTPの配信も可能です。
  - SRTPで接続可能なクライアントの情報は弊社技術情報ウェブサイトに掲載されています。
    <管理番号：C0318>
    ウェブサイトについては、各機種の取扱説明書を参照してください。

## 13. HTTPアラーム通知機能がHTTPS通信とDigest認証に対応

### （取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う［アラーム］
### －アラーム通知に関する設定を行う［通知］－HTTPアラーム通知について設定する）

HTTPアラーム通知機能がHTTPS通信とDigest認証に対応しました。

- **HTTPS通信：**[通知先]にhttps://と入力することで、HTTPS通信でアラーム通知を実施
- **Digest認証：**HTTPサーバーとのDigest認証に対応

- **［通知先 1］～［通知先 5］**
  HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名で設定します。
  通知先は5件まで設定できます。
  **入力可能文字**：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  **初期設定**：http://
  入力例：http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号
  https://IPアドレス:ポート番号、または、https://ホスト名:ポート番号

- **［ユーザー名］**
  HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
  **入力可能文字数：**0～63文字
  **入力不可文字：**全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「￥」

- **［パスワード］**
  HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
  **入力可能文字数：**0～63文字
  **入力不可文字：**全角、半角記号「"」「&」
  **お知らせ**
  - HTTPサーバーの認証要求によりBasic認証またはDigest認証を行います。

## 14. HTTPアラーム通知機能の認証失敗時、システムログに追加

### （取扱説明書　操作・設定編　その他－システムログ表示について）

「HTTPアラーム通知に関するエラー表示」にHTTPサーバーとのユーザー認証失敗時のエラーを追加しました。

| 分類 | 表示内容 | 内容詳細 |
|---|---|---|
| HTTPアラーム通知 | 認証エラー | ・ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。<br>HTTPアラーム通知の設定を再確認してください。 |

## 15. ［SNMPトラップ設定］に「お知らせ」を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］
### －ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］－SNMPを設定する）

［SNMPトラップ設定］に「お知らせ」を追加しました。

**お知らせ**

- アラーム発生時のSNMPトラップ通知を動作させるためには、アラーム動作の設定が必要です。アラーム動作に関する設定を行うには、取扱説明書の操作・設定編の「アラーム設定を行う[アラーム]」を参照してください。

## 16. 録画ストリームの書き込み失敗時のシステムログを追加

### （取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］－ステータスを確認する［ステータス］）

SD メモリーカードに関するログに録画ストリームのライト処理で異常が発生した場合のシステムログを追加しました。

| 分類 | 表示内容 | 内容詳細 |
|---|---|---|
| SDメモリーカード | <SD>フォーマット | SD メモリーカードのフォーマットに成功しました。 |
| | <SD>フォーマットエラー | SD メモリーカードのフォーマットでエラーが発生しました。 |
| | <SD>ライトプロテクト | ライトプロテクトされた SD メモリーカードが挿入されました。 |
| | <SD>認識エラー | SD メモリーカードを正しく認識できません。 |
| | <SD>ライトエラー | SD メモリーカードのライト処理でエラーが発生しました。 |
| | <SD>リードエラー | SD メモリーカードのリード処理でエラーが発生しました。 |
| | <SD>削除エラー | SD メモリーカードの削除処理でエラーが発生しました。 |
| | <SD>ファイルシステムエラー | SD メモリーカードのファイルシステムでエラーが発生しました。 |
| | <SD>その他エラー | SD メモリーカードで上記以外のエラーが発生しました。 |
| | <SD> SDメモリーカード録画の連続性に異常が起きています。SDメモリーカードへの録画ビットレート設定をご確認ください。 | SD メモリーカードのライト処理でデータの欠落が発生しました。 |
| | <SD> SDメモリーカードに異常が起きています。SDメモリーカードの状態をご確認ください。 | SD メモリーカードのライト処理でデータの欠落が発生し続けています。SD メモリーカードが正しく認識されているかをご確認ください。<br>認識されていない場合には、本機の電源を再起動するか、SD メモリーカードを一度抜いてから改めて挿入して確認ください。 |

## 17. 録画ストリームの書き込み失敗を独自アラームで通知する機能を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う［アラーム］
### －アラーム通知に関する設定を行う［通知］－独自アラーム通知について設定する）

「診断」の独自アラーム通知の発生条件に、録画ストリームのライト処理異常を追加しました。

**独自アラーム通知**

- **［独自アラーム通知］**

  以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかを On／Off で設定します。
  - アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
  - SD メモリーカード残容量通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SD メモリーカードの空き容量不足時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SD メモリーカードの認識エラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SD メモリーカードの書き込みエラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）

  **初期設定：**Off

**独自アラーム通知先**

- **［通知先 1］～［通知先 8］**

  独自アラーム通知先を IP アドレスまたはホスト名で設定します。通知先は 8 件まで設定できます。

  **「アラーム」欄：**チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。

  **「診断」欄：**チェックを入れると、SD メモリーカードの残容量通知、SD メモリーカードの空き容量不足、SD メモリーカード認識エラー、SD メモリーカード書き込みエラーを通知します。

  **「通知先アドレス」欄：**通知先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

  **入力可能文字：**半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

  設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の［削除］ボタンをクリックします。

## 18. 録画ストリームのビットレートに推奨値を超えた値を設定したときの注記を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う［映像／音声］－ストリームに関する設定を行う［映像］）

「1 クライアントあたりのビットレート *」の「お知らせ」に、推奨値を超えたビットレートを設定した場合、SD メモリーカード録画の連続性に異常が発生する可能性がある旨を追記しました。

**［1 クライアントあたりのビットレート *］**

**お知らせ**

- ストリームのビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御(ビットレート)」に制限されます。そのため「*」付きの値を設定した場合は、映像が配信されない場合があります。
- ストリームのビットレートは、6144kbps 以下の設定をおすすめします。6144kbps より大きい値を設定した場合は、録画映像の連続性に異常が発生する可能性があります。
- リフレッシュ間隔が短い場合、被写体によっては設定したビットレートを超過することがあります。
- 同時接続するユーザー数、または、使用する機能の組み合わせによっては、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。

## 19. プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe）のダウンロード機能を追加（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う［基本］－基本設定を行う［基本］）

プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe）のダウンロード機能を追加しました。

**［プラグインソフトウェア（nwcv4Ssetup.exe）］－［ダウンロード］**

［実行］ボタンをクリックして、インストーラー付きプラグインソフトウェアをPCにダウンロードすることができます。ダウンロードしたファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

## 20. メール通知先の認証パスワードを拡張

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］－ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］－メール送信について設定する）

メール通知先の認証用パスワードについて入力可能文字数を 128 文字に拡張しました。

- **［認証−パスワード］**

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

**入力可能文字数**：0～128 文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

## 21. LLDP 機能を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］
### －ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］）

LLDP（Link Layer Discovery Protocol）を［ネットワーク］の［アドバンス］に追加しました。カメラのデバイス情報を LLDP 対応機器と送受信することで、相互運用を実現することができます。

**[LLDP]**

LLDP 機能および Fabric Attach を有効にするかどうかを有効/無効で設定します。

**初期設定**：無効

「有効」に設定すると、以下の表のチェックが付いている TLV を含む LLDP を送信します。

| End Of LLDPDU TLV | Chassis ID TLV | Port ID TLV | Time To Live TLV | Port Description TLV | System Name TLV | System Description TLV | System Capability TLV | Management Address TLV | IEEE802.3 Power via MDI TLV | Fabric Attach Element TLV |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

※PoE+電源供給に対応している機種は、「無効」に設定していても PoE+電源供給のために、以下の表のチェックが付いている TLV を含む LLDP を送信します。

| End Of LLDPDU TLV | Chassis ID TLV | Port ID TLV | Time To Live TLV | Port Description TLV | System Name TLV | System Description TLV | System Capability TLV | Management Address TLV | IEEE802.3 Power via MDI TLV | Fabric Attach Element TLV |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | | | | | ✓ | |

**Fabric Attach**

**[Fabric Attach 認証鍵]**

Fabric Attach 認証に使用する鍵を入力します。なお、「LLDP」が「有効」の時のみ有効です。

**入力可能文字数**：0~32 文字（Fabric Attach 認証を行わない場合、空白にして下さい。）

**入力可能文字**：半角英数字

**初期設定**：なし（空白）

**お知らせ**

・[設定]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約 2 分間操作できません。

・Fabric Attach で接続できる機器の情報は、弊社技術情報ウェブサイトに記載されています。
ウェブサイトについては、各機種の取扱説明書を参照してください。

## 22. PC の日時をカメラに設定する機能を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う［基本］－基本設定を行う［基本］）

日時設定において、PCの日時をカメラに設定する機能を追加しました。

**[日時]**

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。

「PC時刻をカメラに設定する」にチェックを入れて［設定］ボタンをクリックすると、PCの日付と時刻を取得して本機に設定します。

設定可能範囲：Jan/01/2013 00:00:00 ～Dec/31/2035 23:59:59

**重要**

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。（→NTPサーバーを設定する）

## 23. SD メモリーカードの「上書き」の初期値を On に変更

### （取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う［基本］－SD メモリーカードを設定する［SD メモリーカード］）

**［上書き］**

SD メモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

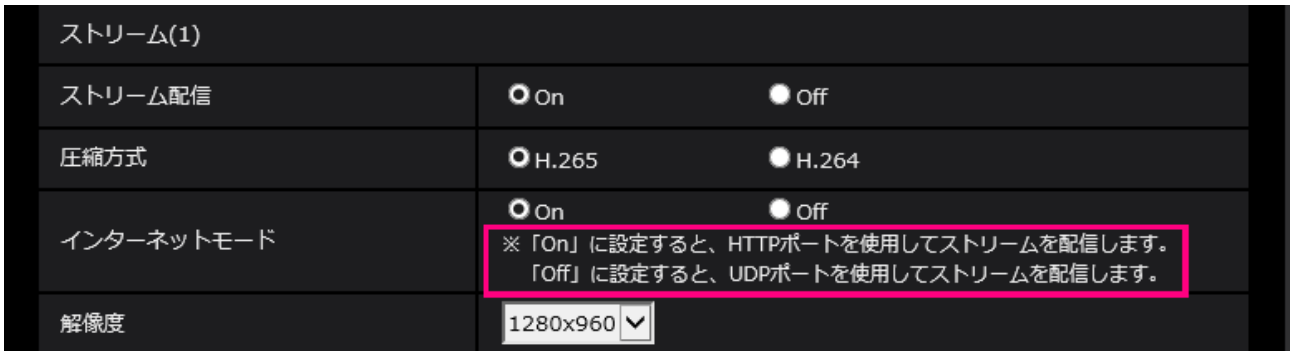
- On: SD メモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- Off: SD メモリーカードの空き容量がなくなった場合、SD メモリーカードへの保存を停止します。

**初期設定**：On

## 24. インターネットモードの On/Off の補足説明を設定画面に追加

### （取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う［映像／音声］ －ストリームに関する設定を行う［映像］）

インターネットモード設定の On/Off の補足説明を追記しました。




**［インターネットモード］**

H.265（または H.264）画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定を JPEG 画像配信時と同じ設定のままでストリームを配信することができます。

- **On**：HTTP ポートを使用して H.265（または H.264）画像、音声を配信します。HTTP ポート番号の設定については「ネットワークを設定する[ネットワーク]」の「IPv6/v4 共通」をお読みください。
- **Off**：UDP ポートを使用して H.265（または H.264）画像、音声を配信します。

**初期設定**：On

**お知らせ**

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、ストリームの画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、ストリームの画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4 アクセスのみに制限されます。

## 25. NTP テスト機能を追加

**（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］**
**－ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］－NTP サーバーを設定する）**

NTP サーバーと通信できるかを確認する為、時刻同期のテスト機能を追加しました。

**[NTP テスト]**

「時刻調整」を「NTP サーバーに同期」を選択し、NTP サーバー情報を設定後に「実行」ボタンをクリックしてください。NTP サーバーと通信し、時刻同期を実施し、NTP 動作の確認をすることができます。

**お知らせ**

・NTP テストに成功すると、「NTP 時刻補正に成功しました。」を表示します。
・NTP テストに失敗すると、「NTP 時刻補正に失敗しました。」を表示します。
・「時刻調整」が「マニュアルセッティング」に設定している場合は、NTP テストの「実行」ボタンはグレー表示されます。
・「時刻調整」が、「NTP サーバーに同期」に設定されている場合で、NTP サーバーアドレスが設定されていない場合には、NTP テストの「実行」ボタンはグレーアウト表示されます。

## 26. HTTPS に TLS 設定を追加

### （取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］
### －ネットワークの詳細設定を行う［アドバンス］－HTTPSを設定する））

HTTPS の接続方法に TLS1.1, TLS1.2, TLS1.3 の選択項目を追加しました。

**［HTTPS-接続方法］**

本機への接続方法を設定します。

**HTTP**：HTTP と HTTPS 接続が可能になります。

**HTTPS**：HTTPS 接続のみ可能になります。

**初期設定**：HTTP

HTTPS を選択した場合に使用する TLS を選択します。

•**TLS1.1**：有効/無効を設定します。

•**TLS1.2**、**TLS1.3**：常に有効で、無効に設定することはできません。

**初期設定**：**TLS1.1**：無効、**TLS1.2**：有効、　**TSL1.3**：有効

**お知らせ**

- HTTP選択時に、HTTPS接続するには、最初にHTTPS接続設定を行ってください。その後、HTTPに設定変更した場合でも、HTTPS接続が可能となります。

## 27. SD メモリーカード画像取得機能を削除

### （取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う［基本］
### －SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］）

Microsoft 社は Web ブラウザー「Internet Explorer」のサポートを 2022 年 6 月 15 日に終了しました。弊社のカメラについても「Internet Explorer」の対応を終了し、「Internet Explorer」のみ対応している「SD メモリーカード画像取得」機能を削除しました。

## 28. i-VMD アラームエリア情報設定を独自アラーム通知画面に追加

**（取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う［アラーム］– アラーム通知に関する設定を行う［通知］– 独自アラーム通知について設定する）**

i-VMD アラームエリア情報を独自アラーム通知画面に追加しました。

・**［i-VMDアラームエリア情報］**

i-VMDで検出したエリア番号を独自アラームで通知するかどうかをOn／Offで設定します。

**初期設定**：On

**お知らせ**

・拡張機能ソフトウェアi-VMDをインストールしている場合に、この設定が表示されます。

・アラーム設定でi-VMDに設定されている場合に、この設定が表示されます。

## 29. 映像配信ログをステータス画面に追加

### （取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］–ステータスを確認する［ステータス］）

映像配信ログをステータス画面に追加しました。

「確認」ボタンをクリックすると、別のウインドウに映像配信ログが表示されます。
［SD メモリーカード］タブで「SD メモリーカード」を「使用する」に設定（→SD メモリーカードを設定する［SD メモリーカード］）し、SD メモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SD メモリーカード内に最大 4000 件の映像配信ログを保存できます。
SD メモリーカードが挿入されていない、または、「SD メモリーカード」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大 200 件まで映像配信ログを保存できます。
保存できる映像配信ログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
映像配信ログは 100 件ずつ表示され、カメラの電源を切ってもログは保持されます。

- ［<<最新の100件］
  クリックすると、最新100件の映像配信ログ一覧が表示されます。
- ［次の100件>>］
  クリックすると、表示している映像配信ログ一覧の次の100件を表示されます。
- ［ページ数表示］
  現在開いているページが「ページ/総ページ」の形式で表示されます。
- ［<<前の100件］
  クリックすると、表示している映像配信ログ一覧の前の100件を表示されます。
- ［No］
  映像配信ログの通し番号が表示されます。
- ［時刻］
  映像配信ログの時刻が表示されます。
- ［ストリーム種別］
  映像配信ログのストリーム種別（ストリーム(*)、JPEG(*)、SDカード再生）を表示します。
  *は番号を表示します。

- ［接続ユーザー］
  映像を配信したユーザー名を表示します。
  **お知らせ**
  ・「ユーザー認証」が「Off」の場合は、「-」と表示されます。
- ［IPアドレス］
  映像を配信したIPアドレスを表示します。
- ［イベント］
  映像配信の開始要求、停止要求や開始エラー（アクセス集中）を表示します。

**お知らせ**

・以下の場合には、停止要求のログが残らないことがあります。
  - 撮像モード・ストリーム・解像度などストリームに関する設定を変更した場合
  - ライブ画より設定画面に移動した場合
  - ライブ画を閉じた場合
  - ネットワークが切断された場合